

事業所名

放課後等デイサービス にじいろ

支援プログラム (参考様式)

作成日

R6 年

11 月

20 日

法人（事業所）理念		子どもが主役（生活に直結した支援を行う）						
支援方針		個別に対応した支援の中、自分から発信できる力を身につける（自分なりの方法を探っていく）						
営業時間		10 時	0 分から	19 時	0 分まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	●健康状態の維持・改善 ●生活習慣や生活リズムの形成 ●基本的な生活スキルの獲得 ●生活におけるマネジメントスキルの育成						
	運動・感覚	●姿勢と運動・動作の基本技能の向上 ●姿勢保持と運動・動作の補助的手段の活用 ●身体の移動能力の向上 ●保有する感覚の活用 ●感覚の特性への対応						
	認知・行動	●認知の特性についての理解と対応 ●対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得 ●行動障害への予防及び対応策						
	言語 コミュニケーション	●コミュニケーション能力の向上 ●言語の受容と表出 ●コミュニケーション手段の選択と活用 ●状況に応じたコミュニケーション						
	人間関係 社会性	●情緒の安定 ●他者との関わり（人間関係）の形成 ●自己の理解と行動の調整 ●仲間づくりと集団への参加						
家族支援		保護者面談を最低でも6ヶ月に一回は設け、事業所での様子を伝えると共に、家庭での様子を聞き取り、情報を交換する。 必要に応じて、保護者の心配事への助言を行う。（きょうだいをふくむ）			移行支援		日常的に本人が関係する他機関と一貫した関わりが取れるように問題点だけでなく全体を通して共有を図る。	
地域支援・地域連携		それぞれの機関で得られた情報を共有し、日常的な生活や支援に活用するため、策を提案する。			職員の質の向上		日々困り感、疑問をそのままにせず、問題を提起する。 療育・制度、5領域等に係る読み合わせ等 各個人興味関心のあるもの、または事業所からの依頼として研修に参加	
主な行事等		入学・進級を祝う会 卒業を祝う会 焼き芋会 餅つき プール（水遊び） 行事だけでなく、通常の活動において季節に合わせた企画・活動						